

文章の構成を学ぶ

2015年度森ゼミ 第3回講義

2014.10.29

担当: 吉川

今日のスケジュール

- 前回の復習
- 説得の基本
- 説得のための5つの構成要素
- 川西の街作文を例に
- 構成整理
- 来週の宿題

前回の復習

前回の復習

- ① 読み手、聞き手にどういった印象を与えたいかを意識して書く
- ② 5W1Hを使って、事実の積み重ねで書く
- ③ 一点突破で書く
- ④ 半径5mの話を書く
- ⑤ 興味を喚起させるようなタイトルをつける

今回の宿題ではできていましたか？

今日の授業でとても大事になることなので、いま一度、これまでの講義をしっかりと確認しておきましょう。

説得の基本

説得の基本



バーバラ・ミント「考える技術・書く技術」
ダイヤモンド社、1999



山崎康司「入門 考える技術・書く技術」
ダイヤモンド社、2011

説得の基本

例) 論文の基本構成

- このような先行研究があります



- それでは説明不可な事象があります



- しかし、この理論で説明可能です



- それが、以下の理論です

説得の基本

Q. 何が言いたいのか？

関心がない人に話を伝えるためには、
興味を喚起する要素を追加する
必要がある

説得の基本

テレビでは、冒頭の2～3分を見て興味がわかなければ、すぐチャンネルを変えられてしまう



いかにして短時間で、視聴者の興味を惹きつけるかが重要

説得の基本

例) NHK「あさイチ」 10月20日放送分

- 若者女子の間で日本酒が流行っている
(そうなんだ、けど聞いたことある話だなあ)
- 味以外で、若者女子を惹きつけているポイントがある
(そんなのがあるのか、いったい何だろう)
- それは、作り手の多くがイケメンであるということである
(そうなんだ、知らなかった、面白そうだなあ)
- 20代の蔵元取材しました⇒本編

説得のための 5つの構成要素

説得のための5つの構成要素

1. Guide – つかみ、タイトル
2. Situation – 土台、前提
3. Complication – ギヤップ、変化
4. Question – 問題
5. Answer – メッセージ、答え、解決法

説得のための5つの構成要素

先ほど紹介した「あさイチ」を例にあ
げてみましょう

説得のための5つの構成要素

1. Guide – つかみ、タイトル

興味を喚起するポイント – 読み手の常識とのギャップ

「あさいち」の主な視聴者層 – 旦那や子供を送り出した主婦



「日本酒がオシャレ!?!」

説得のための5つの構成要素

2. Situation – 土台、前提

メインの話の前提、土台となる部分を、**簡潔に説明**する

メインの話 — 「日本酒が**味以外からも**若者女子を惹きつけている」

前提の話 — 「日本酒が(味で)若者女子を惹きつけている」



- **渋谷で開かれた日本酒のイベントに、20～30代が1500人参加**
⇒若者が日本酒に関心を持っていることがわかる

説得のための5つの構成要素

3. Complication – ギャップ、変化

読み手の興味を喚起する事実を提示する

興味を喚起するポイント

=「**事実と、受け手の常識とのギャップ**」



- 味以外の面でも、日本酒好きな若者女子が増えた理由があります
⇒「それは何だ?」「知りたい!」という気持ちが、視聴者に芽生える

説得のための5つの構成要素

- 事実

日本酒は、その味以外の部分でも、若者女子を惹きつけている

- 受け手(視聴者)の常識

日本酒が若者(女子)の間で流行っていることは何となく知っているが、その理由は、日本酒の味が若者ナイズされ始めたなど、味が好きだということだろう



ギャップ – 若者女子を惹きつける、日本酒の味以外の一面
(「じゃあそれは何なの？」という興味が、受け手に生まれる)

説得のための5つの構成要素

4. Question – 問題

Complicationで生まれるであろう、受け手の疑問を代弁して提示する

(あくまで疑問を提示するだけで、内容にはまだ触れない)



- 味以外の面で、若者女子が日本酒に惹かれているのは、いったいなぜでしょうか？

⇒これまでの情報から受け手に浮かんだ疑問を代弁している

説得のための5つの構成要素

5. Answer – メッセージ、答え、解決法

Questionに対する答えと、その具体的な内容を詳細に提示する



- それは、作り手の多くがイケメンで、女性の心も酔わせているからです
- 日本酒の作り手には、こういったイケメンがいます
⇒本編: 20代の蔵元を取材し、酒造りにかける思いを聞いてきました

説得のための5つの構成要素

1. Guide

「日本酒がオシャレ!?!」

2. Situation

日本酒が若者女子を惹きつけている

3. Complication

惹きつけているポイントは、味以外にもある

4. Question

それはいったい何なのか？

5. Answer

それは、作り手がイケメンだということである
日本酒を作っているイケメンを紹介しよう

説得のための5つの構成要素

注意すべきこと

- Answerが8～9割
- Answerは「受け手の知りたいこと」か
- Complicationは「受け手の興味を喚起するもの」か
- Answerは事実(エピソード)の積み重ね
⇒ 受け手がそれを見て、追体験できるように！

難しいですね(^_^;)



川西の街作文を例に

川西の街作文を例に

もう1つ、川西の街作文を
例にあげて考えてみましょう

川西の街作文を例に

Q.

そもそも、受け手にどう思ってもらった
ら、

良い街作文といえるのか？

川西の街作文を例に

A.

受け手に、「その街に行きたい!!」と
思ってもらうことがゴール

川西の街作文を例に

- テレビ番組

冒頭の2～3分で視聴者に「見たい！」「知りたい！」「と思わせ、本編から「面白い！」「と思わせることがゴール

- 街作文

冒頭の数行で読み手に「読みたい！」「と思わせ、本文全体から「この街に行ってみたい！」「と思わせることがゴール

川西の街作文を例に

1. Guide – つかみ、タイトル

興味を喚起するポイント – 読み手が知らないこと、関心があること
主な読み手 – 40～50代(ESを読むであろう年齢層)



「川西が生んだ若返りの実」

川西の街作文を例に

2. Situation – 土台、前提

メインの話の前提、土台となる部分を、**簡潔に説明**する

メインの話 – 「川西では完熟イチジクが食べられる」

前提の話 – 「そもそも川西ってどこ？イチジクの効果は何？」



- 川西は大阪都心から電車で20分
- 食物繊維のペクチンが100gあたり2gも含まれる

川西の街作文を例に

3. Complication – ギャップ、変化

読み手の興味を喚起する事実を提示する

興味を喚起するポイント

=「**事実と、受け手の知識とのギャップ**」



- ・イチジクは2日で傷んでしまうため、多くの地域では未成熟な実が出荷され、完熟は食べることができない

川西の街作文を例に

- 事実

イチジクは傷みやすく、完熟の実ほとんど食べることができない
しかし、完熟の実を食べることができる場所がある

- 受け手(視聴者)の知識

イチジクを食べたことはあるが、それが未成熟な実であること、完熟の実より美味しいことを知らない



ギャップ – 完熟のイチジクを食べられる場所があること
(「じゃあそれはどこなの？」という興味が、受け手に生まれる)

川西の街作文を例に

4. Question – 問題

Complicationで生まれるであろう、受け手の疑問を代弁して
提示する

(あくまで疑問を提示するだけで、内容にはまだ触れない)



- 完熟のイチジクが食べられる場所はどこですか？
⇒これまでの情報から受け手に浮かんだ疑問を代弁している

川西の街作文を例に

5. Answer – メッセージ、答え、解決法

Questionに対する答えと、その具体的な内容を詳細に提示する



- 川西では、完熟のイチジクが食べられます
- 川西におけるイチジクのエピソード
 - 駅前のイチジク畑での話(完熟イチジクのエピソード)
 - 87歳のおばあさんの話(イチジク健康効果のエピソード)
 - イチジク原産地の話(川西がイチジク栽培の中心地だという事実)

川西の街作文を例に

1. Guide

「川西が生んだ若返りの実」

2. Situation

川西の場所・イチジクの健康効果

3. Complication

完熟の実には殆ど食べられないが、それが食べられる場所がある

4. Question

それはいったいどこなのか？

5. Answer

それは、川西である

川西におけるイチジクの話を紹介しよう

川西の街作文を例に

注意すべきこと

- Answerが8～9割
- Answerは「受け手の知りたいこと」か
- Complicationは「受け手の興味を喚起するもの」か
- Answerは事実(エピソード)の積み重ね
⇒ 受け手がそれを見て、追体験できるように！